# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日


上場会社名　カネ美食品株式会社　　上場取引所　大
コード番号　2669　URL　http://www.kanemi-foods.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 三輪　幸太郎
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長　(氏名) 伊藤　誠　TEL 052-895-2141

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日　配当支払開始予定日　平成23年12月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 40,868 | 0.4 | 1,650 | 17.5 | 1,741 | 15.9 | 582 | 37.8 |
| 23年3月期第2四半期 | 40,689 | △2.1 | 1,404 | 0.8 | 1,501 | 1.3 | 422 | △35.4 |

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　754百万円　(55.0%)　23年3月期第2四半期　486百万円　(—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 59.09 | — |
| 23年3月期第2四半期 | 42.79 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 29,752 | 22,847 | 76.8 | 2,319.34 |
| 23年3月期 | 30,338 | 22,393 | 73.8 | 2,272.77 |

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　22,847百万円　23年3月期　22,393百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 20.00 | — | 30.00 | 50.00 |
| 24年3月期 | — | 25.00 | | | |
| 24年3月期(予想) | | | — | 25.00 | 50.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 81,638 | 0.1 | 2,943 | 4.0 | 3,034 | 0.8 | 1,645 | 0.4 | 166.89 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 ―社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社港炊飯センター

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧下さい。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期2Q | 10,000,000 株 | 23年3月期 | 10,000,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期2Q | 149,140 株 | 23年3月期 | 147,087 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期2Q | 9,851,894 株 | 23年3月期2Q | 9,865,841 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経営環境の変化など様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提条件及びその他に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）企業結合関係 …… 11
（７）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（８）重要な後発事象 …… 11
５．主要な経営指標 …… 12
（１）主要な連結経営指標等の推移 …… 12
（２）主要な個別経営指標等の推移 …… 13

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災後に急速に落ち込みましたが、その後のサプライチェーンの立て直しにより緩やかな回復の動きとなりました。

個人消費においては、震災直後の自粛ムードが和らぐにつれて消費マインドは緩やかに改善しつつも、節約志向、低価格志向は未だ継続しており、当社グループを取り巻く中食業界の消費環境は依然として停滞気味に推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループは、更なる成長戦略への取り組みと、お客様の感性に訴えかける商品開発による潜在需要の掘り起こしに注力し、新たな展開への可能性にチャレンジしてまいりました。

当社グループ及び報告セグメントの当第２四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

なお、前連結会計年度まで「その他」の区分に含めておりました炊飯事業（㈱港炊飯センター）は平成23年４月１日付で当社が吸収合併したことに伴い第１四半期連結累計期間より「外販事業」の区分に含めております。また、業績の状況における前年同期間との比較に関する事項については、前年同期間の数値を当連結累計期間の区分に組み替えた数値との比較によっております。

①　売上高（セグメント間の内部売上高を除く。）

当第２四半期連結累計期間の売上高は、前年同期間と比べ0.4％増収の408億68百万円となりました。

テナント事業においては、洋風惣菜店舗を３店舗出店し、既存の総合惣菜店舗10店舗を改装しました。その一方で、総合惣菜店舗３店舗、寿司専門店４店舗の退店を行いました。販売面においては、第１四半期に続き「ユニー創業100周年企画」への参画や「お客様感謝セール」等の販促活動に注力し需要喚起に努めてまいりました。また、「もう一度行きたくなるお店」を店舗の運営ポリシーとして掲げ、人材育成の強化や商品力の向上に注力してまいりました。このような取り組みの結果、テナント事業の売上高は、前年同期間に比べ1.2％増収の199億45百万円となりました。

外販事業においては、コンビニエンス部門の震災後の需要が一時増加したものの、再び前年割れに転じ、当第２四半期連結累計期間におけるサークルＫサンクスへの納品額は前年同期間に比べ２億81百万円の減少となりました。その一方で新規の取引先への納品額が１億91百万円の増加となったことにより、外販事業の売上高は、前年同期間に比べ0.5％減収の205億34百万円となりました。

②　営業利益

当第２四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期間と比べ17.5％増益の16億50百万円となりました。

テナント事業においては、タイムリーな製造による売上の確保と適切な仕入れによるロスの削減、鮮度感のある売場作りに注力したことにより売上総利益率が向上しました。この結果テナント事業のセグメント利益は、前年同期間に比べ13.0％増益の12億49百万円となりました。

外販事業においては、従来からのコスト削減効果に加え、米の仕入価額の低減や減価償却費の減少が寄与し、外販事業のセグメント利益は、前年同期間に比べ48.2％増益の４億38百万円となりました。

③　経常利益

当第２四半期連結累計期間の経常利益は、上述の要因等により、前年同期間に比べ15.9％増益の17億41百万円となりました。

④　特別損失

当第２四半期連結累計期間において、投資有価証券評価損３億34百万円を特別損失として計上しました。
（前年同期間の投資有価証券評価損は３億99百万円）

⑤　四半期純利益

当第２四半期連結累計期間の四半期純利益は、前年同期間に比べ37.8％増益の５億82百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ５億85百万円減少し、297億52百万円となりました。これは主に、売掛金の減少１億89百万円及び有形固定資産の償却等による減少１億66百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ10億39百万円減少し、69億５百万円となりました。

これは主に、買掛金の減少１億10百万円、未払法人税等の減少４億94百万円及び賞与引当金の減少２億68百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ４億54百万円増加し、228億47百万円となりました。

この主な要因は、配当金の支払額が２億95百万円あった一方、四半期純利益により利益剰余金が５億82百万円、その他有価証券評価差額金が１億72百万円それぞれ増加したことによります。

これらにより、当第２四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の73.8%から76.8%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前年同期間に比べ16億18百万円増加し、111億75百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は、前年同期間に比べ９億76百万円少ない７億62百万円となりました。

この主な要因は、法人税等の支払額が前年同期間と比べ８億51百万円増加したことと賞与引当金の増減による資金の減少が１億28百万円あったことなどによります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用した資金は、前年同期間に比べ４億４百万円多い４億28百万円となりました。

この主な要因は、定期預金の払戻しによる収入が前年同期間は３億円あったことと有形固定資産の取得による支出が42百万円増加したことなどによります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって使用した資金は、前年同期間に比べ１億26百万円少ない３億１百万円となりました。

この主な要因は、長期借入金の返済による支出が前年同期間は１億53百万円あったことなどによります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の業績は、当初の見通しを上回る状況で推移している項目もあるものの、第３四半期以降における市場環境や原材料価格の動向が不透明な状況にあることなどを勘案し、平成23年５月16日に公表いたしました連結業績予想への変更はございません。なお、今後の業績動向により通期の業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。

## ２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第２四半期連結累計期間において、当社は、連結子会社でありました株式会社港炊飯センターを、平成23年４月１日付で当社を存続会社とする吸収合併により、連結子会社の範囲から除外しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

固定資産の減価償却の算定方法について、定率法を採用している減価償却費の算定は、当連結会計年度に係る年間償却額を期間按分して算定しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## ３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## ４．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,143,661 | 10,176,004 |
| 売掛金 | 3,664,863 | 3,475,785 |
| 有価証券 | 999,797 | 999,806 |
| 商品及び製品 | 13,449 | 24,939 |
| 仕掛品 | 111,333 | 106,127 |
| 原材料及び貯蔵品 | 409,587 | 406,563 |
| 繰延税金資産 | 589,004 | 403,137 |
| その他 | 216,690 | 341,823 |
| 流動資産合計 | 16,148,388 | 15,934,186 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 4,686,647 | 4,562,108 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,605,185 | 1,571,643 |
| 土地 | 4,543,800 | 4,543,800 |
| その他（純額） | 308,597 | 299,761 |
| 有形固定資産合計 | 11,144,231 | 10,977,314 |
| 無形固定資産 | 301,901 | 292,993 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,801,726 | 1,776,189 |
| 繰延税金資産 | 610,304 | 424,764 |
| その他 | 332,242 | 347,485 |
| 投資その他の資産合計 | 2,744,273 | 2,548,438 |
| 固定資産合計 | 14,190,407 | 13,818,746 |
| 資産合計 | 30,338,795 | 29,752,932 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,374,231 | 2,263,901 |
| 未払法人税等 | 1,102,200 | 608,000 |
| 賞与引当金 | 1,009,100 | 741,100 |
| 役員賞与引当金 | 15,090 | 8,400 |
| その他 | 2,494,125 | 2,303,268 |
| 流動負債合計 | 6,994,747 | 5,924,670 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 717,298 | 759,183 |
| 資産除去債務 | 39,917 | 40,991 |
| 負ののれん | 19,668 | 11,238 |
| 長期未払金 | 131,531 | 131,509 |
| その他 | 42,208 | 37,834 |
| 固定負債合計 | 950,623 | 980,756 |
| 負債合計 | 7,945,371 | 6,905,427 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,002,262 | 2,002,262 |
| 資本剰余金 | 2,174,336 | 2,174,336 |
| 利益剰余金 | 18,697,551 | 18,984,096 |
| 自己株式 | △427,026 | △432,328 |
| 株主資本合計 | 22,447,124 | 22,728,367 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △53,700 | 119,137 |
| その他の包括利益累計額合計 | △53,700 | 119,137 |
| 純資産合計 | 22,393,424 | 22,847,505 |
| 負債純資産合計 | 30,338,795 | 29,752,932 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 40,689,150 | 40,868,326 |
| 売上原価 | 35,115,846 | 35,083,950 |
| 売上総利益 | 5,573,303 | 5,784,375 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,168,647 | 4,133,546 |
| 営業利益 | 1,404,656 | 1,650,829 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,044 | 1,812 |
| 受取配当金 | 27,458 | 24,859 |
| 負ののれん償却額 | 8,429 | 8,429 |
| 不動産賃貸料 | 15,344 | 7,786 |
| 補助金収入 | 7,310 | 6,362 |
| 受取保険金 | 1,314 | 30,476 |
| その他 | 41,090 | 15,615 |
| 営業外収益合計 | 102,992 | 95,342 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 711 | － |
| 不動産賃貸原価 | 4,596 | 4,289 |
| その他 | 567 | 508 |
| 営業外費用合計 | 5,875 | 4,798 |
| 経常利益 | 1,501,772 | 1,741,372 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,944 | 47 |
| 投資有価証券売却益 | 312 | － |
| 特別利益合計 | 2,256 | 47 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 175 | 44 |
| 固定資産除却損 | 23,964 | 21,305 |
| 減損損失 | － | 854 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 18,197 | － |
| 投資有価証券売却損 | 28 | － |
| 投資有価証券評価損 | 399,319 | 334,583 |
| その他 | 50 | － |
| 特別損失合計 | 441,734 | 356,787 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,062,294 | 1,384,633 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 626,525 | 567,301 |
| 法人税等調整額 | 13,564 | 235,199 |
| 法人税等合計 | 640,090 | 802,501 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 422,204 | 582,132 |
| 四半期純利益 | 422,204 | 582,132 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 422,204 | 582,132 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 64,743 | 172,837 |
| その他の包括利益合計 | 64,743 | 172,837 |
| 四半期包括利益 | 486,947 | 754,970 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 486,947 | 754,970 |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,062,294 | 1,384,633 |
| 減価償却費 | 548,028 | 502,457 |
| 減損損失 | － | 854 |
| 負ののれん償却額 | △8,429 | △8,429 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 18,197 | － |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △8,450 | － |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △139,600 | △268,000 |
| 役員賞与引当金の増減額（△は減少） | － | △6,690 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | 77,406 | 41,884 |
| 長期未払金の増減額（△は減少） | － | △21 |
| 受取利息及び受取配当金 | △29,502 | △26,671 |
| 支払利息 | 711 | － |
| 固定資産売却損益（△は益） | △1,768 | △3 |
| 固定資産除却損 | 16,947 | 14,263 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △283 | － |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | 399,319 | 334,583 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 314,326 | 184,971 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 296 | △3,259 |
| 未収入金の増減額（△は増加） | 30,372 | △26,507 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △147,421 | △110,329 |
| その他の流動資産の増減額（△は増加） | △109,572 | △94,394 |
| その他の固定資産の増減額（△は増加） | 14,086 | △2,065 |
| 未払費用の増減額（△は減少） | △49,987 | △58,332 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | △14,528 | △5,921 |
| その他の流動負債の増減額（△は減少） | △50,970 | △54,926 |
| その他の固定負債の増減額（△は減少） | △5,024 | △4,374 |
| その他 | 416 | 428 |
| 小計 | 1,916,864 | 1,794,149 |
| 利息及び配当金の受取額 | 29,518 | 26,547 |
| 利息の支払額 | △693 | － |
| 法人税等の支払額 | △206,868 | △1,058,331 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,738,822 | 762,365 |

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | 300,000 | － |
| 有形固定資産の取得による支出 | △303,696 | △345,775 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 2,686 | 305 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 1,751 | － |
| 長期貸付金の回収による収入 | 160 | － |
| 投資その他の資産の増減額（△は増加） | △24,589 | △82,738 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △23,688 | △428,209 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △153,700 | － |
| 自己株式の取得による支出 | △28,538 | △5,302 |
| 配当金の支払額 | △246,105 | △296,502 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △428,343 | △301,805 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 1,286,790 | 32,351 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,270,555 | 11,143,459 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 9,557,345 | 11,175,810 |

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | その他（千円）（注）１ | 合計（千円） | 調整額（千円）（注）２ | 四半期連結損益計算書計上額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | テナント事業（千円） | 外販事業（千円） | 計（千円） | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 19,692,087 | 20,647,692 | 40,339,779 | 349,370 | 40,689,150 | ― | 40,689,150 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | ― | 622,006 | 622,006 | 436,699 | 1,058,706 | △1,058,706 | ― |
| 計 | 19,692,087 | 21,269,699 | 40,961,786 | 786,069 | 41,747,856 | △1,058,706 | 40,689,150 |
| セグメント利益 | 1,105,548 | 296,062 | 1,401,610 | 24,176 | 1,425,787 | △21,130 | 1,404,656 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△21,130千円には、人事及び経理財務部門等の管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配分していない費用22,725千円等が含まれております。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | その他（千円）（注）１ | 合計（千円） | 調整額（千円）（注）２ | 四半期連結損益計算書計上額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | テナント事業（千円） | 外販事業（千円） | 計（千円） | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 19,945,551 | 20,534,971 | 40,480,523 | 387,802 | 40,868,326 | ― | 40,868,326 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | ― | 686,116 | 686,116 | 436,088 | 1,122,205 | △1,122,205 | ― |
| 計 | 19,945,551 | 21,221,088 | 41,166,640 | 823,891 | 41,990,531 | △1,122,205 | 40,868,326 |
| セグメント利益 | 1,249,880 | 438,964 | 1,688,844 | 1,107 | 1,689,952 | △39,123 | 1,650,829 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△39,123千円には、人事及び経理財務部門等の管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配分していない費用40,683千円等が含まれております。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度まで「その他」の区分に含めておりました炊飯事業（㈱港炊飯センター）平成23年４月１日付で当社が吸収合併したことに伴い第１四半期連結累計期間より「外販事業」の区分に含めております。

なお、変更後の区分方法により作成した前第２四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報は「Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年９月30日）」に記載しております。

（６）企業結合関係

当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）

共通支配下の取引等

当社は平成23年４月１日付で、当社の100％出資連結子会社でありました株式会社港炊飯センターを吸収合併いたしました。

１．取引の概要

（１）対象となった事業の名称及びその事業の内容

① 事業の名称

当社の100％出資連結子会社である株式会社港炊飯センター

② 事業の内容

穀物類の加工及び販売

（２）企業結合日

平成23年４月１日

（３）企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社港炊飯センターは解散いたしました。

（４）結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

（５）その他取引の概要に関する事項

株式会社港炊飯センターは当社の100％出資連結子会社であり、炊飯及び寿司飯等を製造し、当社のテナント事業へ納品を行っております。

この度、当社はグループの経営資源を集約し、業務効率の向上と意思決定の迅速化を図るため、株式会社港炊飯センターを吸収合併いたしました。

２．実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号　平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。

（７）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（８）重要な後発事象

該当事項はありません。

## ５．主要な経営指標等の推移

（１）主要な連結経営指標等の推移

| 回次 | 第41期<br>第２四半期<br>連結累計期間 | 第42期<br>第２四半期<br>連結累計期間 | 第41期 |
|---|---|---|---|
| 会計期間 | 自平成22年<br>４月１日<br>至平成22年<br>９月30日 | 自平成23年<br>４月１日<br>至平成23年<br>９月30日 | 自平成22年<br>４月１日<br>至平成23年<br>３月31日 |
| 売上高（千円） | 40,689,150 | 40,868,326 | 81,488,175 |
| 経常利益（千円） | 1,501,772 | 1,741,372 | 3,007,383 |
| 四半期（当期）純利益（千円） | 422,204 | 582,132 | 1,638,772 |
| 四半期包括利益又は包括利益（千円） | 486,947 | 754,970 | 1,581,212 |
| 純資産額（千円） | 21,512,912 | 22,847,505 | 22,393,424 |
| 総資産額（千円） | 28,372,398 | 29,752,932 | 30,338,795 |
| １株当たり四半期（当期）純利益金額（円） | 42.79 | 59.09 | 166.19 |
| 自己資本比率（％） | 75.8 | 76.8 | 73.8 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー（千円） | 1,738,822 | 762,365 | 3,781,749 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー（千円） | △23,688 | △428,209 | △226,147 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー（千円） | △428,343 | △301,805 | △682,697 |
| 現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高（千円） | 9,557,345 | 11,175,810 | 11,143,459 |

（注）１．売上高には、消費税等は含まれておりません。

２．第41期第２四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号　平成22年６月30日）を適用し、遡及処理しております。

（２）主要な個別経営指標等の推移

| 回次 | 第41期<br>第２四半期<br>累計期間 | 第42期<br>第２四半期<br>累計期間 | 第41期 |
|---|---|---|---|
| 会計期間 | 自平成22年<br>４月１日<br>至平成22年<br>９月30日 | 自平成23年<br>４月１日<br>至平成23年<br>９月30日 | 自平成22年<br>４月１日<br>至平成23年<br>３月31日 |
| 売上高（千円） | 40,336,081 | 40,480,523 | 80,765,290 |
| 経常利益（千円） | 1,467,469 | 1,708,735 | 2,935,760 |
| 四半期（当期）純利益（千円） | 402,340 | 753,539 | 1,597,028 |
| 純資産額（千円） | 21,113,860 | 22,597,980 | 21,972,493 |
| 総資産額（千円） | 27,835,063 | 29,354,412 | 29,745,889 |
| １株当たり四半期（当期）純利益金額（円） | 40.78 | 76.49 | 161.95 |
| 自己資本比率（％） | 75.8 | 77.0 | 73.9 |

（注）１．売上高には、消費税等は含まれておりません。